

2026年度 お茶の水女子大学大学院
人間文化創成科学研究科（博士前期課程）

人間発達科学 専攻 ・ 教育科学 コース

一般入試・外国人留学生入試
専 門 試 験

試 験 日 : 2026年 2月 2日(月)

試 験 時 間 : 9時 30分 ~ 12時

【注意事項】

1. 監督者の「はじめ」の合図があるまで問題冊子を開けないこと。
2. 試験中、用のある場合は手を挙げて監督者を呼ぶこと。
3. 各設問に対応する答案用紙に回答すること。

I. 以下の英文の全文を日本語に訳しなさい。

この部分に記載されている文章については、
著作権法上の問題から掲載することが
できませんので、ご了承ください。

(出典) Stephen J. Ball and Emiliano Grimaldi (2022) Neoliberal Education and the neoliberal digital classroom, *Learning, Media and Technology*, 47(2), 288-302.(一部改変)

II. 以下の設問について、それぞれ400字以内で解答しなさい。なお、必ず3題すべてに解答すること。(解答は、II-1、II-2、II-3と記載されている答案用紙に、対応する設問の解答をそれぞれ記載すること)

II-1. 義務教育において生成AIを用いることの可能性と課題を論じなさい。

II-2. 優れた教師の指導法を研究する場合の研究課題を設定し、研究内容を論じなさい。学校段階は問わない。論じる際には①研究課題、②課題設定の意義、③仮説、④研究方法を含めること。

II-3. 日本社会における女子大学の存在意義をどのように考えるか、あなたの考えを論じなさい。

2026年度 お茶の水女子大学大学院
人間文化創成科学研究科（博士前期課程）

人間発達科学 専攻 ・ 心理学 コース

一般入試・外国人留学生入試
専門試験（外国語を含む）

試験日： 2026年2月2日(月)

試験時間： 9時30分～11時30分

【注意事項】

1. 監督者の「始め」の合図があるまで問題冊子を開けないこと。
2. 共通問題である問題1と問題2のいずれにも解答すること。問題3Aから問題3Eは選択問題であり、志望指導教員の専門分野に合致する1つを選んで解答すること。
3. 問題ごとに答案用紙を1枚ずつ用いること。答案用紙3枚が配布される。
4. 答案用紙の左上の問題番号欄に問題番号を明記すること。
5. 問題3に関しては、解答する順序は自由だが、問の番号を答案用紙に明記すること。 例： 問1(2)

問題 1 【共通問題】

以下の英文の全文を日本語に訳しなさい。右肩に数字を付した語句について、本文の後に注があります。(50点)

この部分に記載されている文章については、
著作権法上の問題から掲載することが
できませんので、ご了承願います。

(出典 : van der Linden, S. et al. (2025). Using psychological science to understand and fight health misinformation: An APA consensus statement. *American Psychologist*. Advance online publication. より一部改変)

問題 2 【共通問題】

以下の英文の全文を日本語に訳しなさい。右肩に数字を付した語句について、本文の後に注があります。(50点)

この部分に記載されている文章については、
著作権法上の問題から掲載することが
できませんので、ご了承ください。

(出典 : Kanai, R. et al. (2011). Political orientations are correlated with brain structure in young adults. *Current Biology*, 21(8), 677–680. より一部改変)

問題3 A【選択問題：発達心理学】

問1

以下の（1）から（5）のうち3つを選び、それぞれについて、具体的にわかりやすく説明しなさい。（20点×3）

- （1）自閉スペクトラム症（ASD）
- （2）一次的事と二次的事
- （3）子どもの実行機能を調べる課題
- （4）二項ロジスティック回帰分析
- （5）回想法

問2

時間の認識の仕方に年齢による違いがあるかを調べるための研究案を述べなさい。検討する内容、仮説、方法、分析方法を含め、具体的に書きなさい。適宜、図を使用してもかまいません。（40点）

問題3B【選択問題：認知心理学】

問1

以下の(1)と(2)のそれぞれについて、できる限り詳しく説明しなさい。
(15点×2)

(1) マガーク効果

(2) 内受容感覚 (interoception)

問2

検定力(または検出力)の定義と、それを規定する要因、さらに研究において検定力を考慮することの意義について、できる限り詳しく説明しなさい。(20点)

問3

他者と共同で課題に取り組むことが注意機能に及ぼす影響を調べる実験研究を計画しなさい。なおストループ効果を測定する課題を実験に用いること。実験方法、分析方法、予想される分析結果について、できる限り詳しく述べなさい。研究目的の達成に必要であれば、計画に複数の実験を含めてもかまいません。また、適宜、図を用いてもかまいません。(50点)

問題3C【選択問題：社会心理学】

問1

社会心理学における以下の4つの理論の中から2つを取り上げ、それらについて具体例を挙げながら知るところや見解を述べなさい。(20点×2)

- (1) 情動二要因理論
- (2) 客体的自覚理論
- (3) 社会的アイデンティティ理論
- (4) 社会的交換理論

問2

ネットにおける誹謗中傷などの攻撃行動を促す心理社会的要因を明らかにするための研究計画を一つ考案しなさい。問題の背景、仮説、方法、分析計画(独立変数、従属変数、解析方法など)、想定される限界などについて、できるだけ具体的に、日本語で記述すること。適宜、図を使用してもかまいません。(60点)

問題3D【選択問題：臨床心理学】

問1

以下の(1)と(2)のそれぞれについて、3つの用語を組み合わせ、日本語で統合的な説明を書きなさい。(20点×2)

(1) 行動変容、社会的認知理論、自己効力感

(2) ランダム化比較試験(RCT)、内的妥当性、因果推論

問2

以下の3つの用語を組み合わせ、英語で統合的な説明を書きなさい。

(20点)

moderation, mediation, dependent variable

問3

社会文化的背景とメンタルヘルスの関連について、実証的に明らかにするための研究計画を、1つ考案しなさい。問題の背景、仮説、方法、分析計画(独立変数、従属変数、解析方法など)、想定される限界について、できるだけ具体的に日本語で記述すること。適宜、図を使用してもかまいません。(40点)

問題 3 E 【選択問題：教育心理学】

問 1

以下の（１）から（４）のうち２つを選び、それぞれについて解説せよ。専門知識がない者にも理解できるように、詳細に、かつ、わかりやすく記述すること。

（２０点×２）

（１）発達最近接領域

（２）期待・価値理論

（３）誤信念課題

（４）感情制御

問 2

以下の２つの問いに解答せよ。可能な限り、詳細に記述すること。（３０点×２）

（１）統計的仮説検定における検定力（検出力）とは何か、また、それはどのような要因によって規定されるか説明せよ。

（２）調査研究の内的妥当性および外的妥当性を高めるための方法について論ぜよ。

2026年度 お茶の水女子大学大学院
人間文化創成科学研究科（博士前期課程）

人間発達科学専攻・発達臨床心理学コース

一般入試・外国人留学生入試
専 門 試 験

試 験 日 : 2026年 2月 2日 (月)

試 験 時 間 : 9時 30分 ~ 11時 30分

【注意事項】

1. すべての問題に答えること.
2. 問題ごとに指定の答案用紙を使用すること.

2026 年度大学院人間文化創成科学研究科（博士前期課程）人間発達科学専攻
発達臨床心理学コース 2月入試
【専門試験】

問題 1

発達の気になる子どもの特徴を捉えるうえで、発達検査や知能検査を実施する意義および限界について論じてください。

2026 年度大学院人間文化創成科学研究科（博士前期課程）人間発達科学専攻
発達臨床心理学コース 2 月入試
【専門試験】

問題 2

A 市の教育相談室では、適応の問題を抱える小学生約 40 名とその保護者が年間を通して支援を受けている。ここで実践されているプレイセラピーの効果を検証するための研究計画案を具体的に考え、(1)～(4)について述べてください。

- (1) 研究デザインと手続き
- (2) 対象や実施環境に伴う手続き上の制約
- (3) 必要な倫理的配慮
- (4) データの分析方法

2026 年度大学院人間文化創成科学研究科（博士前期課程）人間発達科学専攻
発達臨床心理学コース 2月入試
【専門試験】

問題 3

次の事柄を説明してください。

問 1 因子分析

問 2 認知療法と行動療法

問 3 双極症

問 4 多重関係

問 5 心神耗弱と心神喪失

2026年度 お茶の水女子大学大学院
人間文化創成科学研究科（博士前期課程）
人間発達科学専攻・応用社会学コース
（一般入試および外国人留学生入試）
専門試験（外国語を含む）

試験日：2026年2月2日（月）

試験時間： 9:30 ～ 12:00

【注意事項】

解答は、問1、問2、問3それぞれ別々の答案用紙に日本語で記入すること。

2026 年度 大学院 人間文化創成科学研究科(博士前期課程) 人間発達科学専攻
応用社会学コース 2月入試 専門試験(外国語を含む) 一般および外国人留学生入試

問1. 次の英文を読んで、(1)～(3)の問いに答えなさい。

この部分に記載されている文章については、
著作権法上の問題から掲載することが
できませんので、ご了承願います。

(出典: Hochschild, Arlie Russell, 2012, *The Outsourced Self: What Happens When We Pay Others to Live Our Lives for Us*, Picador, pp. 12-13, 179 より, 一部改変.)

- (1) 下線部①と②を日本語に訳しなさい。(20点)
- (2) 下線部(a)中の clear-cut はどのようなことを指しているか説明しなさい。(20点)
- (3) 現代社会における人間関係の特質について, 社会関係資本(social capital)と市場化のそれぞれの正負両面を考慮に入れつつ, 社会学的に論じなさい。(50点)

問2. 次の A, B の 2 問のうち, いずれか 1 問を選択して解答しなさい。(最初に A, B のいずれを選択したかを明記しなさい。)(50点)

A. 人間の死の変遷について, 次の概念の一部, またはすべてを用いながら, 社会学的な観点から論じなさい。

地域共同体, 疾病構造の変化, 医療化, 格差

B. 家庭内で生じる「見えない」ケア負担の不平等について, 社会学的に論じなさい。

問3. 次の①～⑥の概念のうち 4 つを選んで, それぞれ項目の番号を明記してから説明しなさい。(15点×4項目)

- ① 標準誤差(Standard Error)
- ② ホモナショナリズム(Homonationalism)
- ③ 必要と欲望(Needs and Wants)
- ④ 創られた伝統(The Invention of Tradition, 伝統の創造)
- ⑤ アンダークラス(Underclass)
- ⑥ 関係人口

2026年度 お茶の水女子大学大学院
人間文化創成科学研究科（博士前期課程）

人間発達科学 専攻 ・ 保育・児童学 コース

（一般・社会人特別・外国人留学生 入試）

専門試験(外国語を含む)

試験日： 2026年 2月 2日(月)

試験時間： 9時 30分 ～ 12時 00分

【注意事項】

1. 監督者の「始め」の合図があるまで問題冊子を開けないこと。
2. 試験中、用のある場合は手を挙げて監督者を呼ぶこと。
3. 問題ごとに答案用紙一枚を使用し、答案用紙の左上の問題番号欄に問題番号を明記すること。
4. 複数の問が含まれる問題については、問の番号・記号を明記してから回答を記載すること。
5. 答案用紙の表面に書ききれない場合、裏面も解答欄として用いてよい。

問題 1 次の英文を日本語に訳しなさい。ただし、人名は原語のままにかまわない。

この部分に記載されている文章については、
著作権法上の問題から掲載することが
できませんので、ご了承ください。

出典) Elfer, P. (2024). Let's get serious about feelings in early years practice. In P. Elfer (Ed.) *Talking with Feeling in the Early Years: 'Work Discussion' as a Model of Supporting Professional Reflection and Wellbeing*. Routledge, pp. 3-9. (うち引用箇所は pp. 3-4.) より一部改変。

問題 2 日本の「こども未来戦略」(2023年12月22日閣議決定)に基づく施策に関して、次の各問に答えなさい。

(1) 「こども誰でも通園制度」は、「全てのこどもの育ちを応援し、こどもの良質な成育環境を整備するとともに、全ての子育て家庭に対して、多様な働き方やライフスタイルにかかわらない形での支援を強化する」ためのしくみとして、2026年度から全国で実施される。2026年2月時点までに、どのような制度として検討されているか、概要を説明しなさい。(300字程度)

(2) 「こども誰でも通園制度」が「こどもの良質な成育環境を整備する」ことを実現するうえで、制度上どのような課題を内包していると考えられるか。(1)で解答した制度の概要に照らして、課題として考えられることを論じなさい。(500字程度)
その際、以下の資料から読み取れることを参考にしてもよい。

この部分に記載されている文章については、
著作権法上の問題から掲載することが
できませんので、ご了承願います。

出典：こども家庭庁「令和7年度 こども誰でも通園制度 実施状況速報」(2025年12月2日現在) (<https://www.cfa.go.jp/policies/hoiku/daredemo-tsuen> 2026年1月8日取得)より、一部改変。

問題3 次の文章を読んで答えなさい。

(1) 著者は、アニミズムについて、発達心理学と人類学でそれぞれどのように扱われてきたのかを論じている。それぞれの学問における考え方について述べなさい。

(300字程度)

(2) 著者は、倉橋惣三による幼児の動物への親しみについて、どのようなことを述べているのか、論じなさい。(400字程度)

出典：山本一成(2025)『生きているものどうしの想像力—アニミズムがひらく生命の保育・教育』世織書房。(一部改変。問題資料は pp. 81-85 より出題。)

問題3 資料 1 ページ目

文章内にある) 内の小さな数字 (例えば、資料
冒頭から2行目の「知られている(8)」の
(8) は無視してください。

この部分に記載されている文章については、
著作権法上の問題から掲載することが
できませんので、ご了承願います。

問題 3 資料 2 ページ目

この部分に記載されている文章については、
著作権法上の問題から掲載することが
できませんので、ご了承ください。